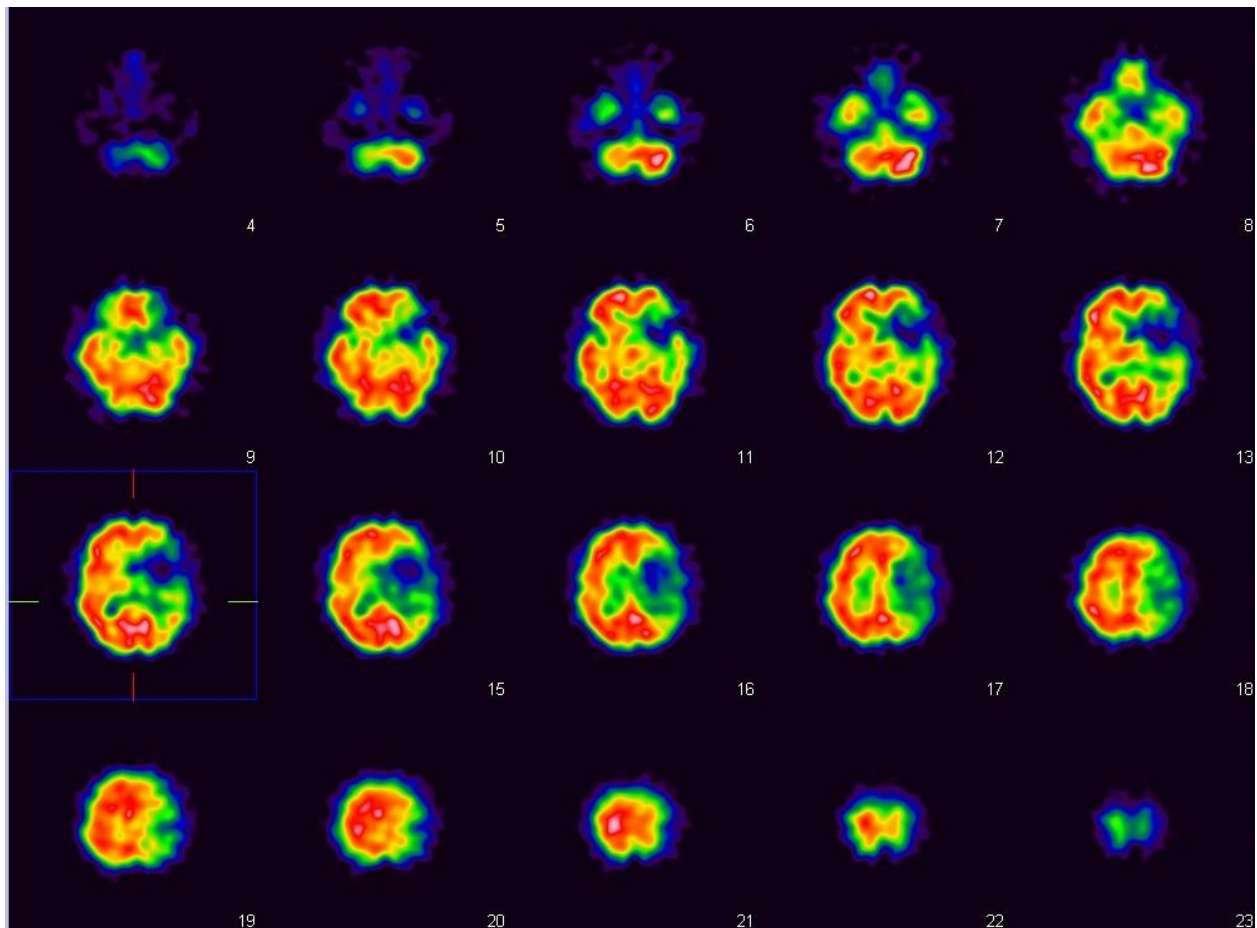


当院で行っている主なR I 検査を紹介します

脳血流シンチグラフィ

この検査では脳の血流の状態を調べることができ、どの部分の血流が低下しているか知ることができます。また当院では種々のコンピュータのソフトウェアを用いた分析も行っております。認知症の場合、初期の段階から脳の特定の場所の血流の低下が見られることがあります。直接血流を調べることで^{いしゆく}萎縮など脳の形状に変化が起きる前に異常を見つけることができます。

脳血流シンチグラフィの画像の例



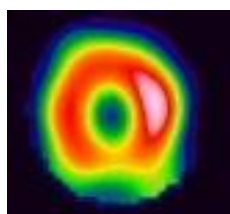
脳血流が低下しているところが青～黒で示されています。

心筋血流シンチグラフィ

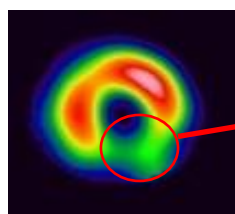
心臓を動かすための筋肉(心筋)に酸素や栄養を送る血管(冠動脈^{かん})の状態を見る検査で、心筋が正常に動いているか、心臓の働きが果たされているかを調べます。この検査は主に狭心症や心筋梗塞の診断などに利用されています。「狭心症」とは冠動脈が何らかの原因で狭くなっている場合、安静にしている時は症状がないのに運動などをして心臓に負担がかかった時に血流が不足して、胸が苦しくなったり痛みを感じたりすることがある症状のことをいいます。また冠動脈が完全に詰まってしまった場合、心筋に酸素や栄養が送られず心筋が壊死してしまいます。これを「心筋梗塞」といいます。

狭心症では心臓に負担がかかっているときのみ血流が不足し、リラックスして安静にしているときには血流は正常に供給されています。そのため狭心症の診断が目的の場合、運動した直後あるいは心臓に負担をかけるお薬を使った直後に撮影し、比較のため数時間後安静にしている時に2回目の撮影を行います。

検査画像（心臓を輪切りにしたような断面）の例



正常例



血流が低下している場合の例

このあたりの血流が低下しています

骨シンチグラフィ

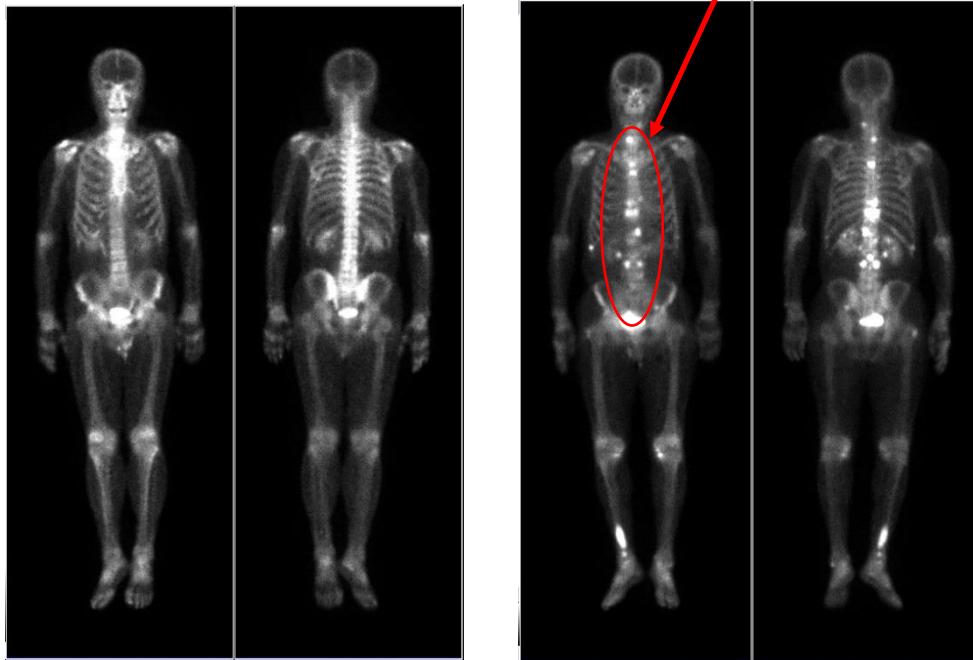
がんが骨に転移していないかどうか、あるいはケガによる微小な損傷がないかなど、様々な骨の状態を調べる検査で、レントゲン写真ではわからないような骨の異常も見つけることができます。

当院では現装置の導入により様々な角度から撮影することが可能になり、より骨の状態を観察しやすくなりました。

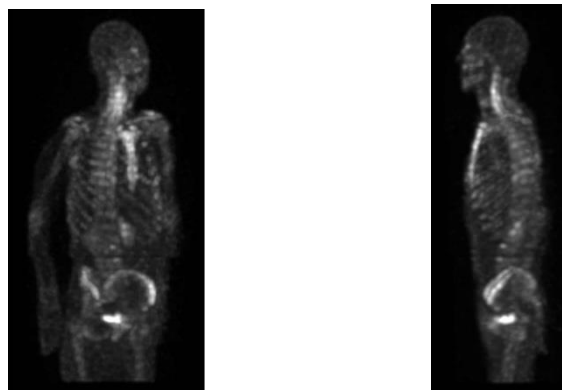
正常例

異常が見られる場合の例

がんの骨への転移が複数箇所見られます。



様々な角度から写真を撮影しています。



このほかにも様々な検査を行っておりますので、詳しくはお尋ねください。

RI 検査は下の写真のような装置で撮影します。



RI 検査の流れ

① 放射性医薬品を注射します

数 ml 程度の放射性医薬品を静脈に注射します。

※皮下に注射する場合やカプセル（2～3 個）を服用していただく検査もございます。

② 検査装置のベッドに寝ていただきます

検査前に撮影する部位に身に着けている金属類はすべて外していただきます。

例：頭部の検査ならば入れ歯・補聴器・メガネ・ピアスなど

③ 撮影します

検査により注射後撮影を開始するまでの時間が異なります。注射しながら撮影する検査、注射 3 時間後に撮影する検査、注射 2～3 日後に撮影する検査などがございます。また検査により薬を 2 回注射する検査や複数回撮影する検査もございますので詳しくはお尋ねください。

撮影時は寝ているだけですが、撮影装置が体のすぐ近くまで近づきます。撮影時間は検査により異なりますが 20 分～45 分程度の検査がほとんどです。検査中は体を動かさないようお願いいたします。また検査によっては数十分間腕を上げたままで撮影する場合もございますのでご協力をお願いいたします。

Q&A

Q. RI検査のRIとは？

A. RIとは **Radioisotope**（ラジオアイソトープ）の略で、放射線を出す物質という意味です。

Q. 放射性医薬品とは？

A. 検査したい臓器などに集まる性質がある薬に微量の放射線を出す物質を加えた医薬品です。CTやMRIで用いられる造影剤とは異なる薬です。

Q. 放射性医薬品によって副作用はありますか？

A. 放射性医薬品による副作用はごく稀です。また副作用が出たとしてもほとんどが軽度のものです。

Q. 放射線を出す物質を体内に入れても安全ですか？

A. 放射線を出す薬を体内に入れるため、検査にもよりますが1回あたり1～15mSv(ミリシーベルト)程度の被ばくがあります。胃のバリウム検査は1回あたり約4mSv、CT検査(胴体部分)は1回あたり5～14mSv程度の被ばくがありますので、他の検査と比較しても決して被ばくが多い検査ではありません。また投与された放射性物質の放射能は時間の経過とともに弱くなる性質があるほか、尿などで体外へ排出されますのでご安心ください。ただし妊娠している(可能性のある)方、授乳中の方は放射性物質が胎児または赤ちゃんへ移行する可能性があり、原則として放射性医薬品を投与しないことが望ましいので、事前に医師またはRI検査室の担当者にお知らせくださいますようお願い申し上げます。

Q. シンチグラフィとは？

A. 投与された放射性医薬品から出る放射線をシンチカメラと呼ばれる特殊なカメラで撮影する検査をシンチグラフィといいます。検査する部位と合わせて「〇〇シンチグラフィ」(例:骨シンチグラフィ)または略して「〇〇シンチ」と呼ばれます。

Q. MRIのような大きな音はしますか？

A. MRI検査で聞こえる工事現場のような大きな音はしません。ただし、カメラが上下したり回転したりするときに多少音がします。

RI 検査室からのお願い

- 検査(または注射)予定時間に遅れますと他の方の検査にも影響が出てしまいますので、**必ず注射・検査予定日の指定された時間に遅れないようお願いいたします**。また注射・検査予定日に何らかの事情で検査を受けられない場合は必ず前日までに病院までご連絡いただきますようお願い申し上げます。(なお特殊な放射性医薬品を検査のために取り寄せているため、事前の連絡なく検査を受けなかった場合は薬代を請求させていただく場合がございますのでご注意ください)
- 妊娠している(可能性のある)方、授乳中の方は放射性物質が胎児または赤ちゃんへ移行する可能性があり、原則として放射性医薬品を投与しないことが望ましいので、事前に医師または RI 検査室の担当者にお知らせくださいますようお願い申し上げます。
- その他不明な点・不安なことがありましたら遠慮なく担当者にお尋ねください。